

## 令和2年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（京都市立楊梅幼稚園）

| 教育目標                         |  |
|------------------------------|--|
| 健康で、心豊かに、自分で考え、いきいきと遊ぶ子どもの育成 |  |
| 年度末の最終評価                     |  |
| 自己評価                         | <p>教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し</p> <p>遊びへの意欲や心を動かす姿が十分に見受けられ、いきいきと遊ぶ姿が見られた。環境に自らかかわり様々にやってみようとして（「探究」）、ものや人とのかかわりを喜び（「ふれあい」）、自分の力を発揮しようとする（「誇り」）姿がみられた。特に小学校と同敷地内での教育が始まったことで子どもたちが小学生との交流を楽しみ豊かな経験につながった。</p>    |
| 学校関係者評価                      | <p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>コロナ禍で見通しの立たない中、子どもたちが、安心して自分らしさを出して、幼稚園生活を送っていることを嬉しく思い、子どもたちの成長を感じる。</p> <p>小学生との交流も行われ、子どもたちにとってより良い経験となっていることを嬉しく思う。今後も深めていってほしい。小学校、中学校を見通して、さらに教育をすすめてほしい、そのため地域も協力していく。</p> |

### 学校関係者評価の評価日・評価者

|      | 評価日    | 評価者     |
|------|--------|---------|
| 中間評価 | 10月27日 | 学校運営協議会 |
| 最終評価 | 3月4日   | 学校運営協議会 |

### （1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

| 具体的な取組   |   |
|--|---|
| ○幼稚園週計画案と保育実践、評価の運動から日々の保育の充実を図る。  | *主体的に遊びに取り組み、探究する保育<br>*身近な環境や人、ものに興味や関心をもち、関わりやふれあいを楽しむ保育<br>*自分らしさを發揮し、自分に自信や誇りをもてる保育 |
| ○日々の子どもの姿や事例を通して、教職員で話し合い、情報交換をし、保育に活かしていく。  |   |
| (取組結果を検証する) 各種指標   |   |
| ○保護者アンケートを実施する。  |   |
| ・「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいますか」<br>・「子どもはいろいろなもの、こと、人との関わりやふれあいを楽しんでいますか」<br>・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」<br>・「子どもは自分のことは自分でしようとしていますか」<br>・「教職員は話しやすく、相談しやすいですか」 |   |
| ○幼稚園週指導案の実践や評価からカリキュラム・マネジメントを通して次年度の年間指導計画に反映させる。   |   |

## 中間評価

### 各種指標結果

○アンケート項目について、保護者も教職員も高く評価をしている。

- ・設問「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」99%
- ・設問「子どもはいろいろなもの、こと、人の関わりやふれあいを楽しんでいますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」100%
- ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」97%
- ・「子どもは自分のことは自分でしようとしていますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」87%
- ・「教職員は話しやすく、相談しやすいですか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」99%

○教育目標の「探究」「ふれあい」「誇り」を意識した週案、保育の実践や評価反省、事例研修から、年間指導計画に反映させることを少しづつ進めている。

### 分析（成果と課題）

保護者アンケートや週案での取り組みなどから、今年度は様々に昨年度までとの違いがある中、概ね教育目標が達成できていると考えられる。保護者アンケートで低い評価をした方（否定的な回答をした方）は、新型コロナウィルス感染拡大防止に伴う臨時休業中の預かり保育やその後の保育や行事の変化などについての不安によるものである。

### 分析を踏まえた取組の改善

今後も、一人一人に丁寧に保護者に発信し、関わっていくとともに子どもたちにとって必要な経験を工夫しながら進めていく。カリキュラム・マネジメントを通して次年度の年間指導計画に反映させていく。

### （最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

○保護者アンケートを実施する。

○幼稚園週指導案の実践や評価からカリキュラム・マネジメントを通して次年度の年間指導計画に反映させる。

### 学校関係者評価

### 学校関係者による意見・支援策

行事などの様子からも、このような状況の中でも子どもたちが生き生きと新園舎での遊びを楽しんでいることがわかる。運動会が行えたことが、子どもたちにとっても保護者にとっても良かった。そのような子どもたちの学びの発信を今後も丁寧にしていってほしい。家庭、幼稚園、地域がそれぞれの役割を大事に今後もしていきたい。

## 最終評価

### （中間評価時に設定した）各種指標結果

アンケート項目について、保護者も教職員も高く評価をしている。週案、保育の実践や評価反省、事例研修から、年間指導計画に反映させている。接続期のカリキュラムについても見直した。

### 自己評価

### 分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題

感染症予防と豊かな経験という、難しい教育活動の中、子どもたちも新しい生活様式について理解が進み、手洗いやマスク、集まった時の友達との距離など、自分たちで意識して生活する姿が見られた。新園舎での生活にも教職員も子どもたちも慣れ、様々に遊びの環境が充実することで、担任との信頼関係や担任の幼児理解が深まったり、担任が生活の見通しをもてるようになつたりして、より週案が充実することで保育実践につながった。保育の評価や反省、次週の保育構

|                             |  |
|-----------------------------|--|
|                             | <p>築へと循環が行われた。園内事例研修や小学校教員との合同の研修会などで、9年間の子どもの発達を見通して指導計画を見直したり、接続期のカリキュラムについても見直したりすることができた。保護者や教員においては「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいる」「教職員は話しやすく、相談しやすい」の項目において、肯定的な評価が100パーセントと高く、子どもも保護者も安心して幼稚園生活を送っていることが伺える。</p> |
|                             | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>今後も感染症対策を講じながらも、子どもたちも豊かな経験を保障するために、安心、安定して、安全に過ごすことができるよう、したい遊びをすることができるよう引き続き環境構成の工夫をしていく。</p>   |
| 学校<br>関<br>係<br>者<br>評<br>価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>「教職員は話しやすく、相談しやすい」の項目において、肯定的な評価が100パーセントであったことが、喜ばしい。</p>   |

## (2) 幼小連携・接続に関して

|  |  |
|--|--|
|  | <p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同じ敷地内の教育活動を行いつつ、日々の遊びや生活、小学生としぜんと関わりあうことや交流活動などの子どもの事例から幼稚園での「育てたい資質・能力」（探究・ふれあい・誇り）を探る。</li> <li>探究・ふれあい・誇りの視点をもち、昨年度の接続期のカリキュラムをカリキュラム・マネジメントし、今年度も作成する。</li> </ul>  |
|  | <p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者アンケートを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもはいろいろなもの、こと、人との関わりやふれあいを楽しんでいますか」</li> </ul> </li> <li>○「育てたい資質・能力」（探究・ふれあい・誇り）についての事例検討をする。</li> <li>○各発達段階においての「育てたい資質・能力」（探究・ふれあい・誇り）の姿から接続カリキュラムをつくる。</li> </ul> |

## 中間評価

|              |   |
|--------------|---|
|              | <p><b>各種指標結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者アンケート結果は高評価である。</li> <li>○事例検討により、子どもの発達を捉えること、その時期に大事な環境構成と教師の援助について互いに協議することができた。</li> <li>○近隣小・中学校への公開保育（ミシルウィーク）、下京雅小学校との合同研修会が実施できた。</li> </ul>                            |
| 自己<br>評<br>価 | <p><b>分析（成果と課題）</b></p> <p>小学校の研究組織や幼稚園の事例検討や研究保育、保育参観など、教員同士が互いに参画することで、教員同士の互いの教育についての理解は進んでいる。</p> <p>事例検討や研究保育を重ねることで、丁寧に子どもの様子を見ていくことで、幼児理解や保育の改善につながった。</p> <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>「育てたい資質・能力」（探究・ふれあい・誇り）についての事例検討を引き続き行う。事例を</p> |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>もとに探究・ふれあい・誇りの視点を生かし、接続カリキュラムの編成を進める。</p> <p>研究発表会での小学校や就学前施設への発信をするとともに、丁寧に対話を重ね、幼稚園と小学校の連携を深める</p>                                   |
|  | <p>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公開保育や研究発表会の実施</li> <li>○公開保育や研究発表会、交流保育の実施に向けた話し合いの実施</li> </ul> |

#### 学校関係者評価

##### 学校関係者による意見・支援策

幼稚園と小学校が同敷地内になったことで、子どもたちの自然な交流ができてきていることを嬉しく思う。建物自体が校庭を囲む形になっているので、自然と互いの様子が目に入ることも幼小接続・連携に効果的だと思う。

#### 最終評価

##### (中間評価時に設定した) 各種指標結果

小学校と一緒に研究を進める中で、研究組織を再編したことにより、互いの教育についての理解や教員同士の信頼関係が深まった。それにより、交流についても回数、質ともに向上した。子どもたち同士は同じ敷地内で一緒に教育活動をしていることが、自然となり、休み時間や交流などでのかかわりを楽しんでいる。11月の研究発表会は感染症対策のために、参観者を限定して行ったが、自園の取組を発信できた。

|      |   |
|------|---|
| 自己評価 | <p>分析(成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校・幼稚園での「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)について、幼稚園はエピソードから捉え、小学校はエピソードシートに表した。互いの研究授業、研究保育を見合い、一緒に協議することで、9年間の子どもの発達や互いの教育の共通点や相違点、教師の子どもの姿の捉え方などについて共通理解が進んだ。</li> <li>○幼児期の「育てたい資質・能力」(探究・ふれあい・誇り)が育まれる発達の道筋とそのための保育の要素について明らかにすることができた。また、接続期カリキュラム(幼)についても見直すことができた。</li> <li>○幼児教育のどの様なことを学校教育に接続していくのか、幼児教育の本質について学校教員にもわかるように発信していくことには課題が残る。</li> </ul> |
|      | <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>今年度行った交流について互いの指導計画に位置づけ、見直していく。</p> <p>自身の保育を振り返り、保育を充実させていくこと、子どもが幼児期に自己発揮することこそが、幼小接続においては大事である。小学校教員に分かるように伝える発信力を身につけたい。</p>  |

#### 学校関係者評価

##### 学校関係者による意見・支援策

コロナ禍でも、幼稚園と小学校とが様々に交流できたことが、よかったです。これからも深めていってほしい。

#### (3) 預かり保育について

### 具体的な取組

- ・異年齢での関わりや安心して遊べる内容を設定する。
- ・3歳児が安定して預かり保育に参加できるよう保護者としっかり連携を図る。

### (取組結果を検証する) 各種指標

○保護者アンケートを実施する。

「保護者は安心して子どもを預かり保育に参加させていますか」

○預かり保育参加者数や参加の感想などから検証する。

## 中間評価

### 各種指標結果

○設問「安心して自分の子どもを預かり保育に参加させていいですか」

回答「あてはまる・概ねあてはまる」94%

○子どもたちは異年齢での遊びを楽しみ、安心して自分のしたいことを楽しんでいる。3歳児も参加者が多く、担当者の体制を整えることで、喜んで参加している。

|         |  |
|---------|--|
| 自己評価    | 分析 (成果と課題)<br>保育時間とは違う遊具で、ゆったりと異年齢の友達と遊ぶことができている。            |
|         | 分析を踏まえた取組の改善<br>引き続き、子どもたちが楽しんできることができるよう、ゆったりとした雰囲気を大事に取り組む |
|         | (最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標<br>預かり保育参加者数や参加の感想などから検証する。        |
| 学校関係者評価 | 学校関係者による意見・支援策<br>引き続き、安心して子どもたちが参加できるようにお願いしたい。             |

## 最終評価

### (中間評価時に設定した) 各種指標結果

早朝預かり保育の浸透など預かり保育が充実し、就労など、新2号認定児が増え、長時間預かり保育利用者も増えた。保育中の様子や預かり保育中の様子について担任と預かり保育担当者が連携することで、子どもたちは落ち着いて遊びを楽しんでいる。

|      |  |
|------|--|
| 自己評価 | 分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況、次年度の課題<br>子どもたちも、預かり保育に慣れて、安心して過ごしている。<br>保育時間とは違う遊具で、異年齢の友達との遊びを楽しんでいる。 |
|      | 分析を踏まえた取組の改善<br>引き続き子どもたちが安心して楽しく過ごすことができるよう、預かりボランティアなどの体制を整えていく。                             |
|      |  |
|      |  |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 学校<br>関<br>係<br>者<br>評<br>価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>今後も充実させていってほしい。</p> |
|-----------------------------|---|

#### (4) 子育ての支援に関して

|                  |   |
|------------------|---|
| 具体的な取組           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A と連携し、新しい未就園児の教育相談のポスターづくりをする。</li> <li>・ 広く周知してもらえるよう教育相談のポスターを貼ってもらうよう地域の方々に協力をお願いする。</li> <li>・ 未就園児教育相談で、子育ての困りの相談を受けたり、保護者同士の交流や情報提供をしたりする。</li> </ul> |
| (取組結果を検証する) 各種指標 | <p>○未就園児教育相談や行事などのポスターをつくって地域の方々に配布をお願いしたり、児童館や子育てサロンなどで配布したりする。</p> <p>○教育相談や入園の問い合わせの際、どのような情報により問い合わせにつながったかを確認する。</p>   |

#### 中間評価

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 各種指標結果                      | <p>新しい未就園児の教育相談のポスターをつくり、児童館や子育てサロン、地域に掲示したりすることができた。教育相談や入園の問い合わせの際には、園長が丁寧に対応し、どのような情報が問い合わせにつながったかを確認した。さらに、近隣の小規模保育ルームと連携して本園の教育について説明する機会をもつことができた。</p>                          |
| 自己評価                        | <p><b>分析 (成果と課題)</b></p> <p>新型コロナウィルス感染拡大防止対策のために例年より始まりが遅かったが、ポスターや地域や学校に協力していただき、配布している楊梅便りなどで少しずつ、認識が広がり、参加者が増えつつある</p>  |
|                             | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>引き続き丁寧に対応し、本園の教育や未就園児の教育相談について広く周知できるようにしていく</p>  |
| 学校<br>関<br>係<br>者<br>評<br>価 | <p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>○未就園児教育相談や行事などのポスターやチラシを児童館や子育てサロンなどで配ったりする。</p> <p>○引き続き教育相談や入園の問い合わせの際、どのような情報により問い合わせにつながったかを確認したり、本園の教育や預かり保育、3年保育などについて丁寧に伝えたりする。</p> |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 学校<br>関<br>係<br>者<br>評<br>価 | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>地域としても協力できることはしていく。</p> |
|-----------------------------|---|

#### 最終評価

|  |  |
|--|--|
| (中間評価時に設定した) 各種指標結果                                    |  |
| ポスターやチラシ、ホームページなどで、広く発信した。入園に対する問合せなどには、園長や教頭が丁寧に対応した。 |  |
| 自己評価   | <p><b>分析 (成果と課題)</b>, 重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>本園の教育や園舎の特徴、PTAからの話や、教育相談などの対応などで、幼稚園のことを知ってもらい、様々に興味をもっていただき、入園につながっている。連携施設である同敷地内の中規模保育事業所からも入園につながっている。子育てについて子どもの発達についてわからるために母親が悩んでいることが多く、教育相談で担当者に話をきいてもらったり、同年代の子どもたちを見たりすることで母親が安心できるようにかかわることできた。</p> <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>来年度からの取組について、計画をたてて、年度当初から始めることができるように体制を整え、発信していく。</p> |
| 学校関係者評価  | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>地域も一緒に進めたかったが、今年度は難しかった。次年度以降、協力できることはしていく。</p>  |

## (5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）について

|  |  |
|--|--|
| <p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統扇子の絵付け体験（5歳児）をする。</li> <li>・園行事や楊梅だよりの発行をする。</li> </ul> <p><b>(取組結果を検証する) 各種指標</b></p> <p>○保護者アンケートを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもはいろいろなものやこと、人と関わることを楽しんでいますか」</li> </ul> |  |
|--|--|

### 中間評価

|  |   |
|--|---|
| <p><b>各種指標結果</b></p> <p>保護者アンケート結果は高評価である。</p> |   |
| 自己評価   | <p><b>分析 (成果と課題)</b></p> <p>地域の伝統扇子の絵付け体験（5歳児）を実施し、子どもたちも楽しみ、保護者も喜んでいる。</p> <p>園行事や楊梅だよりで幼稚園の様子を発信することができた。</p> <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>さらに、地域の資源を活用しながら、保育を充実させていく。</p> <p><b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b></p> <p>○保護者アンケートを実施する。</p> |
| 学校関係者評価  | <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>引き続き、地域としても協力していきたい。</p>  |

|   |  |
|---|--|
| 価 |  |
|---|--|

## 最終評価

|   |  |
|---|--|
|   | (中間評価時に設定した) 各種指標結果  |
| 新園舎、新校舎の竣工に感謝する気持ちを伝えることができるよう「感謝の集い」を行った |  |
| 自己評価                                      | <p><b>分析 (成果と課題)</b>, 重点目標の達成状況、次年度の課題</p> <p>感染症対策のために感謝の集いのライブテレビ視聴となつたが、地域の方のご尽力があつて、幼稚園園舎が新しくなつたことや新しくできた幼稚園や小学校を地域の方が一緒に喜んでくださっていることを幼児なりに理解していた。</p> |
| 学校関係者評価                                   | <p><b>分析を踏まえた取組の改善</b></p> <p>今後、状況を見ながら、地域の資源を活用しながら、保育を充実させていく。</p> <p><b>学校関係者による意見・支援策</b></p> <p>引き続き安全で安心できる地域づくりを推進していきたい。</p>                      |

## (5) 教職員の働き方改革について

|   |   |
|---|---|
|   | <b>重点目標</b>   |
|   | 勤務時間的有效利用、優先順位をつけながら業務をこなす。   |
|   | <b>具体的な取組</b>   |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援員と連携し、業務の効率化を図るとともに保育の充実につなげる。</li> <li>・ノー残業デーを守る。</li> <li>・長期休業中の年休取得日を増やす。</li> </ul> |
| <b>(取組結果を検証する) 各種指標</b>   |   |
| <input type="radio"/> 長時間勤務の時間数を減らす。<br><input type="radio"/> 年休取得日数を増やす。 |   |

## 中間評価

|      |  |
|------|--|
|      | <b>各種指標結果</b>  |
|      | 教職員は意識して、勤務時間を守って退勤しようとしている<br>年休取得について、それぞれが意識して、取得しようとしている   |
| 自己評価 | <p><b>分析 (成果と課題)</b></p> <p>校務支援員と連携し、業務の効率化が図れている。校務支援員の業務が主に消毒であり、教材つくりなど、昨年度まで校務支援員が行っていた業務について教員の負担が増えている。新しい行事の在り方や保育についての打合せ、小学校とのかかわりなどの時間もふえているが、メリハリをつけて会議や業務をこなすなど、工夫している。</p> |
|      | <b>分析を踏まえた取組の改善</b>  |
|      | 見通しをもって業務にあたり、校務支援員や校務支援ボランティアなどの活用を進める  |
|      | <b>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</b>   |
|      | <input type="radio"/> 長時間勤務の時間数を減らす。<br><input type="radio"/> 年休取得日数を増やす。  |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 学校<br>関<br>係<br>者<br>評<br>価 | <b>学校関係者による意見・支援策</b>                           |
|                             | 先生の仕事の大変さはよく理解している。保護者や地域の対応など、協力できることをやっていきたい。 |

### 最終評価

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 自己<br>評<br>価                  | <b>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</b>   |
|                               | 年休取得促進日などの取得促進などができる。  |
| 分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題 | 働き方改革の大事さがわかり、教職員一人一人が意識をもって取り組もうとしている。                                      |
|                               | 勤務時間の割り振り変更の弾力的な運用に係る試行実施を行い、教員が自分の働き方を意識する機会となった。                           |
| 分析を踏まえた取組の改善                  | 通常業務に加え、感染症対策など、校務支援員や校務支援ボランティアと連携しながら優先順位や区切りをつけることで、業務の効率化への意識改革がなされてきている |
|                               | 業務の効率化について意識改革を進め、会議や職朝、研修などについて組織的に改善できることをさらに進めていく                         |
| 学校<br>関<br>係<br>者<br>評<br>価   | <b>学校関係者による意見・支援策</b>  |
|                               | 協力できることをやっていきたい  |